



平成 28 年 12 月 26 日
九州地方整備局
立野ダム工事事務所

立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 5 報】

～理解を深めて頂くための取り組み及び立野ダム建設予定地周辺の復旧状況～

1. 理解を深めて頂くための取り組み

○「立野ダム建設に係る技術委員会」（各分野の第一人者で構成）において、流木や巨石により洪水調節機能に支障がでるような影響はないことを含め、公開の場で議論いただき、「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能」等との結論を得ました。

○この委員会の結論について、地元の方々のご理解を深めて頂くための取り組みを継続的に行っておりますので、その状況をお知らせいたします。

【最近の取り組み】

- 1) 従前よりご指導頂いてきている景観、環境保全等に関する学識者の皆さま（11名）や阿蘇火山博物館学術顧問に、本年10月から12月にかけてダム建設予定地周辺の現地説明を行いました。
- 2) 熊本青年会議所等の皆さま（約50名）にダム建設予定地周辺の現地説明を行いました。（別紙 1）

○今後も県や市町村と連携し、ご理解を深めて頂くための取り組みを行っていきます。

2. 熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況

○左岸工事用道路及び仮排水路トンネルの復旧に必要な左岸斜面の復旧工事に12月27日より着手します。（別紙 2）

【問い合わせ先】

（1に関する問い合わせ）

国土交通省 九州地方整備局

河川部 河川計画課長

TEL：092-471-6331（代表）

坂井 佑介（内線 3611）

（2に関する問い合わせ）

国土交通省 立野ダム工事事務所

技術副所長

TEL：096-385-0707（代表）

寺下 進一（内線 204）

○事業の実施にあたり、従前よりご指導を頂いてきている景観、環境保全等に関する学識者の皆さま(11名)や阿蘇火山博物館学術顧問に、本年10月から12月にかけてダム建設予定地周辺の現地説明を行い、現地の状況について、ご理解をいただきました。

○12月7日に、熊本青年会議所等の皆さま(約50名)にダム建設予定地周辺の現地説明を行い、現地の状況について、ご理解をいただきました。



ダムサイト周辺の視察の様子（学識者の皆さま）

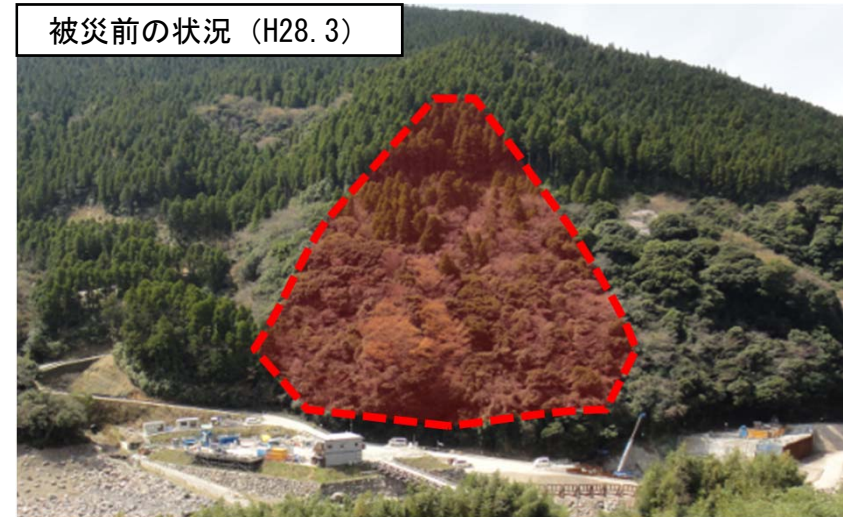
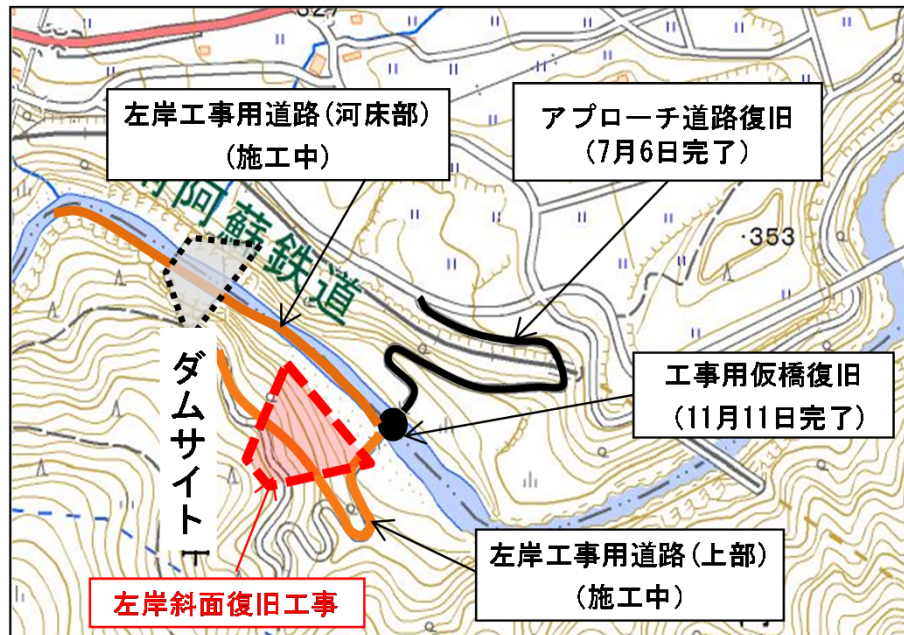


ダムサイト周辺の視察の様子（熊本青年会議所等の皆さま）

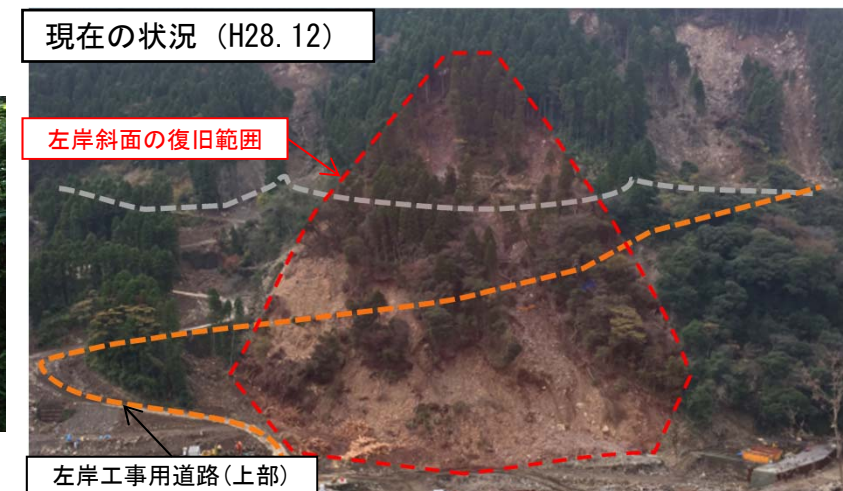
熊本地震後の^{たての}立野ダム建設予定地周辺の復旧状況

別紙2

○左岸工事用道路及び仮排水路トンネルの復旧に必要な左岸斜面の復旧工事に12月27日より着手します。なお、復旧に際しては、緑化対策を実施するなど、景観に配慮していきます。



斜面对策後の緑化イメージ



(参 考)

「平成 28 年熊本地震」を受け、立野ダム工事事務所では、現場復旧や地元の方々のご理解を深めていただくための様々な取り組みを行っています。

これまでの取り組みは以下のとおりです。今後、随時更新・記者発表してまいります。

【熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況について】

- ・ 7 月 6 日 河川内にアプローチするための道路の復旧完了
- ・ 11 月 11 日 ダムサイト上流の工事用仮橋の復旧完了
- ・ 11 月 15 日 復旧したダムサイト上流の工事用仮橋を活用し、左岸工事用道路工事に着手
- ・ 12 月 27 日 左岸工事用道路及び仮排水路トンネルの復旧に必要な左岸斜面の復旧工事に着手

【立野ダム建設に係る技術委員会について】

- 学識者からなる「立野ダム建設に係る技術委員会」を設置し、平成 28 年熊本地震後の立野ダム建設に関し、技術的な確認・評価に関する検討を公開の場で議論いただきました。
- 8 月 17 日の委員会で「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能であると考えられる」等との結論を得ました。

【理解を深めて頂くための取り組みについて】

- 委員会の結論を「立野ダム建設に係る技術委員会報告書（概要版）」としてわかりやすくとりまとめ、9 月 16 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 20 日より白川流域の 21 箇所を設置・配布しています。
- 「立野ダム建設に係る技術委員会報告書」を 9 月 23 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 26 日より白川流域の 21 箇所で開催しています。
- 委員会の結論に関する問合せ窓口を設置しました。

※問合せ窓口：九州地方整備局 立野ダム工事事務所 調査設計課
TEL：096-385-0707（代表）
E-MAIL：tateno-otazune@qsr.mlit.go.jp

- 委員会の結論をまとめた概要版を用いて立野ダム建設予定地周辺の現地説明を行っています。

- ・ 9 月 13 日 南阿蘇村（村長及び職員、村議会の全ての議員の皆さま） 37 名
- ・ 10 月 4 日 菊陽町（町長及び職員、町議会の議員、区長の皆さま） 38 名
- ・ 10 月 7 日 大津町（町長及び職員、町議会の全ての議員の皆さま） 35 名
- ・ 10 月 14 日 阿蘇市（市長及び職員の皆さま） 3 名
- ・ 10 月 18 日 熊本県（知事及び職員の皆さま） 6 名
- ・ 10 月 12 日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 3 名
- ・ 10 月 13 日 景観、環境保全等に関する学識者 1 名
- ・ 11 月 15 日 阿蘇火山博物館学術顧問
- ・ 11 月 25 日 熊本県（県議会建設常任委員会の全ての議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、職員の皆さま） 18 名
- ・ 11 月 27 日 熊本市（市長及び職員の皆さま） 9 名
- ・ 12 月 7 日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 7 名
- ・ 12 月 10 日 熊本青年会議所等の皆さま 約 50 名

(参 考)

○立野ダム建設予定地の現地状況や工事状況が確認できる眺望場所に説明パネルを設置しました。

※これまでの取り組みは、

「地震後の立野ダムに関わる区域の状況について【第1報】～【第6報】」、

「立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第1報】～【第4報】」で公表しています。